

## 第17期うきたむ学講座総括実行委員会開催の結果報告

令和7年12月14日に開催した上記会議では運営委員会で決定した「会議資料」に基づき、委員長及び事務局からの開催案の説明がなされ、承認された。今後は、講師の先生への依頼文書を作成し、12月下旬にチラシを作成し、置賜館内市町村教育委員会又は首長部局の文化・文化財担当課の担当者を経由し各方面に配布することで了解が得られた。

### 18期以降の会の持ち方、テーマについて

- 1 会の持ち方については清野委員から新庄北高等学校の生徒さんがアイヌ語地名を調べることに興味を持ち、米沢を案内した経験から、この会にも高校生が参加できるようにしてはいかがかとの意見が出された。

吉田委員長からは以前は学生もつれてきたことがあったが、最近はそれもなくなった。若年層を取り込むことも必要と考える。今後の課題としたい。との意見が出された。
- 2 出席した委員の方からは次年度以降のテーマや演題について次の様な意見が出された。
  - 1) 小国町の街道に関係するさまざまの研究成果をお聞きできないか(岩崎副委員長)。

益田委員から、今日欠席の渡部眞治委員が詳しいかもしれない。あたってみてはどうか。昨年度、旧伊佐領小学校に歴史民俗資料館をオープンし、民俗資料を中心に考古資料等を展示している。資料館の展示資料の紹介を含め担当の町教委蛇原一平委員に話してもらってもいいのではないか。
  - 2) 守谷英一委員から置賜民俗学会で渡部眞治委員から「塩の道」について話していただいたが、大変いい話だった。小国の漁具の民俗資料も特徴があって面白い。五味沢の方形館も興味深い。
  - 3) 岩崎副委員長から最近長井市の致方地区コミセンで収集した史料を見ているが、明治36年に「種もみを借りるという」資料がたくさんあった。この年の前年を含め、水害が相次いだという記録があったので、それに起因するのではないかと思うが、此の辺を掘り下げてもいいのではないか。また、大政翼賛会に関する資料もたくさんあった。青木慶一委員、この辺のお話はどうか?青木委員からは勉強しないと何とも言えないとの意見があった。

近・現代文書については白鷹町でも多く保有しているが、手付かずの状況という(大内紀子委員)。
  - 4) 佐藤公保委員から、米沢市の上杉文書の調査が今年度で終了する。これに関するシンポジウムを3月15日に予定している。また成島八幡神社で見つかった神像4体に関わる調査結果も他で報告予定と聞く。どちらも二番煎じとなるが、面白いのではないか。
  - 5) 高橋拓委員からは、昨年の提案を進めてほしいとの意見があった。

### 実行委員について

運営委員会での提案通り、青木敏雄、齊藤敏明、佐藤智幸各氏に就任を依頼することが決定された。また、副委員長の高梨善三郎委員から委員辞退の申出があり、了承された。